

2022-23年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「八重山の未来のために行動しよう」



イマジンロータリー

2022-23年度RI会長テーマ

RI会長:ジェニファーE. ジョーンズ

地区ガバナー:嶋村 文男

◇ ガバナー信条 ◇

“Take Action for Rotary Future”

“Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう”

“世界の平和のために手を差しのべよう”

今月のロータリーレート 1\$¥138

## 島の水景 ~石垣島の水散策~

### 【 大浦ダム 】

野底山からの大浦水系を集める灌漑用水専用のダムで島の北部へ農業用水を供給しています。島内にある5つのダムの中でも最北にあり、ひっそりとたたずんでいる印象を受けます。ダムの印象とは対照的に、帰路に見える景色は、島のものとは思えないほど豪快で壮大な風景が広がり、訪れた人を魅了します。



12月のプログラム 12/14(水)ゲスト卓話 12/21(水)年次総会 12/28(水)休会

ガバナー補佐:仁開 一夫 会長:大浜 勇人 副会長:前原 博一

幹事:松田 新一郎 副幹事:今西 敦之

公共イメージ委員長:山下 暢 SAA・出席委員長:大本 綾子

例会日 水曜日 12:30~13:30  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
TEL/FAX(0980)83-2917  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

☆総会員数：53名（名誉会員2名・出席免除会員2名）

☆出席義務会員数：49名

☆出席人数：30名 欠席人数：19名 出席率：61.22%

《司会進行：大島 盛幸・大本 綾子》

☆ロータリーソング：君が代 四つのテスト

☆ソングリーダー：宮城 早人

☆グ ス ト：根路銘 剛宏様・町田 健作様

会長挨拶  
大浜 勇人



先週は、我々の地区補助金事業、1年越しでやっと終わることが出来ました。八重山特別支援学校に防災設備の寄贈ということで、体育館で行われ子供たちも大変喜ばれていて、紙面を見るとヒーローだということが書かれていてちょっとビックリしましたが、充実した設備を贈ることができて大変喜ばれたと思います。新聞紙面を見てみると4月にはクルーズ船が再開するということが載っておりました。やっという時期が来たんだなと深く感じております。私の手元に特別寄付金明細書というものがございます。大濱達也さんと私の方で米山基金にそれぞれ寄付させて頂いております。大濱達也さんは5回目で累計50万円、私は4回目の功労賞ということで盾を頂いております。ありがとうございます。今日は、(株)りゅうせきの常務取締役、根路銘さまの方からエネルギーのことについてお話して頂けるということで、最近ではガソリンも高くてなかなか皆さんも大変かと感じております。今日は、よろしく願いいたします。

☆ 幹事報告・松田 新一郎 ☆

本日の報告は2点ございます。先週の例会でもお話させて頂きましたが、国際大会が来年の5/27～31日までオーストラリアのメルボルで開催されます。特別料金が適応される期間では早期早割となって100\$ほど安くなっております。今週の金曜日までに事務局までご連絡いただければ来週早々にもWeb登録いたします。RYLAセミナーが2023年2/23～26日まで3泊4日で「やんばる学びの森」北部の方で開催されます。こちらは当クラブの大本委員長のお嬢様、大本織佳さまが選考の結果、受講することが決まりました。ロータリアンも参加可能となっております。石垣RCから推薦しています。皆さまで応援したいと思いますので、事前登録をお願いいたします。登録料は3,000円(現地参加は5,000円)です。クラブ単位での振込みとなっておりますので、参加される方は事務局までお願いいたします。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

新川正人プログラム委員長：今年度は、忘年会の開催はありません。最後の12/21(水)の例会は、年次総会となっております。昼間の例会になります。年明けに、夜間例会として新年会を開催いたしますので、宜しくお願い致します。

☆ ゲスト卓話：根路銘 剛宏 氏 ☆  
(株式会社りゅうせき 常務取締役)

テーマ：石垣島におけるエネルギーサプライチェーンと次世代エネルギーの動向

今日は、このようなロータリークラブの皆さまの前でお話させて頂く機会を設けて頂き大変ありがとうございます。簡単に自己紹介をさせていただきます。りゅうせきの方でエネルギーの輸送事業を担っている部門と、次世代のエネルギーの開発の方も担当しているところでございます。日頃は、石垣島のエネルギーの安定供給というような使命感を持って業務に取り組んでいる次第でございます。入社以来約30年、エネルギー事業に携わってきたという関係がございますので、本日のテーマは「石垣島におけるエネルギーサプライチェーンの供給面と、次世代エネルギーの今の動向の部分のお話をさせて頂ければと思います。お時間が30分ほどというふうにお伺いしていますので、少し駆け足になるところもあろうかと思いますが、皆さまにとって有意義な時間になりますよう一生懸命お話をさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

創業は1950年でございます。創業者は稲嶺一郎でございます。沖縄初の民間石油供給会社として1950年に創業いたしました。以来ライフラインを担う企業として、創業者である稲嶺一郎先生から社業の公共性に徹するという精神に基づいてエネルギーの安定供給に努めながらの会社でございます。皆さまご承知の通り沖縄県は東西に1,000km、南北に400km、その中に37の有人島が点在している島嶼県になります。そういった沖縄県の特徴といいますと、台風などかなりの影響を受けてまいります。その中でエネルギーを安定的に供給するということは、当社のりゅうせきの絶対的な使命として日々取り組みをさせて頂いているところでございます。創業以来72年を迎えていまして、本社の方は浦添市にございます。創業時は松山でございましたけれども、平成3年に移りまして30年が経過したところでございます。りゅうせきは本体とは別にグループ会社を持っておりまして、現在7社でグループ会社が構成されています。代表的なものはガソリンスタンドでありますとか、沖縄本島でオートバックスの運営を私どもでやらせていただいきながら、あとは保険事業をやっているりゅうせきライフサポートというふうな会社でございます。Auの携帯電話販売、人材派遣業、ITのシステム開発なども行っておりますので、りゅうせきのフロントラインという会社がございます。あとはりゅうせき建設業、各種塗料、包装資材等の卸・小売業、業務用食品全般を担っている株式会社大亜という会社があります。介護事業も行っておりまして、りゅうせきケアプロトウ会社でデイケアサービスなどの介護の事業を行っています。もう一つは企業主導型保育事業と申しまして、保育事業のりゅうせきビジネスサービスという会社で事業を行っているグループ会社でございます。また社会福祉法人として、特別老人ホームがありまして、もともと創業者の稲嶺一郎先生が持っていた土地を社会福祉法人に寄贈して、そちら

の方で特別老人ホームを建てまして、そういったところで事業を行っているというのがりゅうせきグループの概要でございます。本業であります石油・ガス事業の説明ですけれども、支店が5支店、販売拠点が10カ所ございます。那覇・中部・北部・宮古・八重山は支店となっております、それ以外に物流センターとして、那覇・浦添・中部・南部・北部・宮古・八重山・久米島・糸満、それから沖縄電力さんの石川火力発電所の中に石川油槽所というものも持っております。こちらの方から様々なエネルギー製品を沖縄県全域に供給しているところでございます。石油についてですが、皆さまの身近でいいますとガソリンがございまして、沖縄県には二つの石油製品の基地がございまして、こちらはうるま市の平安座島というところに沖縄出光が持っています油槽所が一つありまして、もう一つは、西原町にございまして南西石油さんが持っている油槽所、この二つの油槽所が沖縄県のエネルギーを本土から海上輸送して持ってくる巨大な基地となっております。南西石油というのは1968年にエッソ・スタンダードが作った会社です。2008年にブラジルのペトロプラスという石油会社が南西石油を買って営業していたんですが、2016年にブラジルの石油会社が沖縄から撤退をしまして、現在は太陽石油という会社の完全子会社にして太陽石油が運営をしているところでございます。以前は原油を沖縄まで持って来て南西石油で精製をして、ガソリンや軽油、重油類を作って沖縄県に供給をしていたんですが、精製が無くなったことで、沖縄県に届けられるエネルギーというのは全て本土から受け入れています。日本の石油会社というのはENEOS、出光、コスモの3社に集約されました。私が入社した時は、石油元売り会社というのは全部で14社ありましたが、それが全て統廃合を繰り返して現在の3社となっております。私どもは、ENOSの特約契約がございましてENOSのガソリンスタンドを運営していてENOSの製品自体を届けるというふうな経緯となっております。本島までは元売りの船で持って来れますが、久米島、宮古島・石垣島、最西端の与那国島、最南端の波照間島の方はタンカー船でそれぞれ燃料を持って行って、更に島のそれぞれの石油の販売会社がいらっしゃいます。その販売店の方から更にご家庭の方にエネルギーが届けられるというふうなのが、今の石油の流通になっているところでございます。皆さまの身近でいいますとプロパンガスがあります。お料理を作る時にガスを使いますし、お風呂に入る時にお湯を沸かすためにもガスは使います。そのガスについても沖縄本島には3つのガス基地がございまして、沖縄出光の基地と南西石油、マルキ産業が受け入れの基地を持っています。ガスの方は宮古・八重山には本土から直接受け入れを行っています。あと私どもはタンカー船を保有しています。4隻ありまして、那覇の方から久米島、宮古・石垣とガソリン、軽油、A重油、発電用のC重油とそういった部分を日々供給しながらエネルギーの安定供給を行っているのが現在の流れとなっております。沖縄県は島嶼県となっておりますので、エネルギーをどうやって確

保していくのかというのは非常に重要な課題でございまして、今は私どもの船で本土まで取りに行くこともありますし、本土から持って来てもらうということもあります。一番は台風の影響は、私どもにとっては眠れない日々もありますので、そういった部分の取り組みをさせて頂いているのが状況でございます。石垣島では2018年に支店を移転させて頂きました。その前は石垣港のターミナルのすぐ隣に支店があったんですが、市街地だということもあり、市とも協議しながらサザンゲートを渡ったところに移転をさせて頂きましたので、八重山支店の紹介をしたいと思います。私どものりゅうせきは、石垣島に如何にしてエネルギーを安定的に届けるのかというふうな事を職員一同、日々努力をしているという事をご理解いただけたら幸いです。今、ばいぬはま町のサザンゲートブリッジ1本で繋がっている島なんですが、当初はもう一つ道路を拡張していくと石垣市としていましたけれども、災害時の対応などを考えると早めに新しい道路が出来ることを期待していますので、ぜひロータリークラブの皆さんもご理解頂ければ幸いです。旧支店の場合は敷地が狭くて石油製品の貯蔵量が今の半分しかなかったもので、台風が来た時に在庫が運べないということで、私もこの30年の間に非常に危機がございまして、これを運ばないと石垣島の全電力がシャットダウンしてしまうというふうな場面もありました。そういったことは絶対に起こしてはいけないという危機、そういう意味でも貯蔵量を倍以上にさせて頂いてそれで安定的に供給できる態勢ですので、安心してエネルギーを沢山使って頂けたらと思います。

これからのエネルギーがどう動こうとしているかお話をさせて頂きたいと思っております。皆さん、カーボンニュートラルという言葉も聞いたことがあると思いますが、政府が2020年菅政権の時に2050年カーボンニュートラル宣言というふうな形で国、世界中が動きを始めました。脱炭素社会の実現に向けた動きでございます。私どもりゅうせきは、炭素を扱っている製品ですので、脱炭素をしていくという部分からすると大きな経営の舵をシフトしていかなければいけない。且つ安定的にエネルギーを供給しなければいけないという使命も持っていますので、りゅうせきの取り組みとしては、様々な企業さま、自治体、そういったところと連携を図りながら島嶼県である沖縄県には、持続可能な新たなエネルギー供給をどうやって作っていくかということに今取り組んでいます。水素ステーションをどうやって作るかと考えていますが、水素を使ったエネルギーの社会を作るために必要なことは、つくることと貯めて運ぶことと、使うという3つのキーワードで動いています。つくというのは、再生可能のエネルギーを使って水を電気分解して水素を取り出すといった事に取り組んでいます。水電解装置というのがあって、すでにその技術は確立しています。次に貯める・運ぶなんですが、現在沖縄県には水素ステーションはございません。全国に161カ所の水素ステーションがありますが、沖縄にもどうにかして実現しようというような動き

をしています。今のガソリンスタンドの中に水素を供給できるようにするためにはどうしたらいいかというような事を考えています。また使うという部分では、トヨタ自動車さんが「MIRAI」という燃料電池車、これは水素と酸素を反応させた時に出来る電気を車の中に持っている蓄電池を貯めて電気で走る車のことを燃料電池自動車と言います。それが FCEV です。その代表的なものが「MIRAI」という車です。そちらであると、今どんどん開発が進んでいますのがバスです。あとは水素トラックにも一つがフォークリフトです。こちらは水素をエネルギーとして走ります。水素自動車は自分の体内に発電所を持っているようなイメージです。その原動力となるのが水素だというふうに理解をして頂ければいいのかなと思います。今、特にトヨタが水素エンジンの開発を急ピッチで進めておまして、我々石油を扱っている業界でも大変期待をしているというふうな動きがございます。副生水素について少しだけお話をさせていただきます。うるま市にあります昭和化学工業さんという会社がございます。そちらは苛性ソーダを作っている工場ですが、苛性ソーダや塩素を作る過程のなかで水素が出てきます。

現在、りゅうせきと昭和化学と提携をして、その放出されている水素を捕まえてそれを有効的に使おうじゃないかというふうな取り組みを走り始めているということを少しご紹介をさせて頂きました。最後になりますが、私もりゅうせきは、前半にお話したように、これまでの化石燃料も大変必要なエネルギーの安定供給の部分に必要でございます。一方ではこれからの未来に向かって新たなカーボンニュートラルに向けたエネルギーも必要になりますので、いわゆる需要と供給の好循環を生み出しながら地域の方々、そして各企業さん、自治体と連携をして、新しいこれからのクリーンなエネルギー社会に少しでも貢献をしていきたいと考えております。石垣島にいつか水素自動車を走らせて観光の島、石垣島が世界で一番クリーンな島になれるようにりゅうせきも頑張っておりますので、どうぞその際にはロータリークラブの皆さまにご支援いただければ幸いに存じます。拙いお話ではございましたけれども、少しでも私どものりゅうせきの会社をご理解いただけたら幸いでございます。本日は、本当にありがとうございました。

### ～ 例 会 風 景 ～



根路銘様  
卓話ありがとうございました



**本日のニコニコ:** ☆大浜勇人氏: 根路銘様、卓話ありがとうございます。 ☆松田新一郎氏: 根路銘様 本日はありがとうございました。  
 ☆小林昌道氏: 臘八大接心も明日で終了です。ちなみに座禅会です。朝 5 時半からです。  
 ☆今西敦之氏: サムライブルー ブラボー!! ☆新川正人氏: 根路銘様 卓話ありがとうございました。  
 ☆垣本徳一氏: 根路銘様 ゲスト卓話ありがとうございます。 ☆玉城一吉氏: 根路銘様 卓話ありがとうございます。  
 ☆大島盛幸氏: 根路銘様 卓話ありがとうございました。

◆BOX ¥8,000 (累計 ¥204,000) ◆コイン ¥174 (累計 ¥8,111) 合計 ¥212,111

12月

前木繁孝氏 19日(月) 砂川和徳氏 21日(水) 玉城力氏 21日(水) 遠藤正夫氏 25日(日)

